

**製品名: SATB1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83694**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 86 kDa ; Observed MW: 100 kDa

**抗原情報**

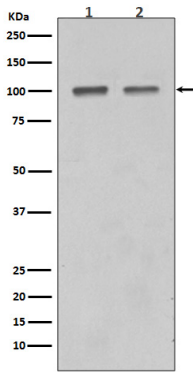
遺伝子名	SATB1
別名	DNA binding protein SATB1; DNA-binding protein SATB1; SATB homeobox 1;;SATB1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q01826
免疫原	ヒト SATB1 由来の合成ペプチド

**背景**

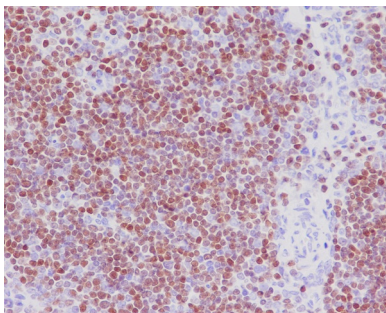
SATB1 は、胚発生期およびリンパ腫において Xist RNA を介した X 染色体不活性化の開始に寄与する重要なサイレンシング因子です。核マトリックスまたはスキャフォールド関連領域にある、AT に富む特殊な配列であるコンセンサス SATB1 結合配列 (CSBS) で DNA に結合します。二本鎖 DNA の糖リン酸構造を認識すると考えられています。DNA のマトリックス付着領域 (MAR) に結合し、局所的なクロマチンループリモデリングを誘導することで、リン酸化およびアセチル化の状態依存的に核およびウイルス遺伝子の発現を制御する転写抑制因子です。

## 研究分野

## 画像データ



(1) マウス胸腺組織溶解物、(2) Jurkat 細胞溶解物中の SATB1 のウエスタンブロット分析。



SATB1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胸腺の免疫組織化学分析。